

2024年度 第3四半期決算 電話会議 資料

2025年2月14日（金）

MS&AD

INSURANCE GROUP

本日のポイント 2024年度第3四半期業績

- 正味収入保険料は、前年同期比3,408億円（+10.5%）増収の3兆5,712億円
- 連結四半期純利益は、前年同期比3,444億円増益の6,260億円（11月予想対比進捗率99.4%）
グループ修正利益は、前年同期比3,665億円増益の6,339億円（11月予想対比進捗率94.6%）

国内損保事業

2,896億円増益の4,328億円

正味収入保険料の増加や自然災害に係る発生保険金の減少を主因に保険引受利益が増加
資産運用では利配収入増加に加え政策株式売却益が大幅に増加したことから、大きく増益

国内生保事業

24億円増益の443億円

MSP生命において、米金利上昇による保有債券の評価損が拡大したものの、上期に運用目標に到達した
契約が多数発生したことに伴う責任準備金繰入負担減少などにより増益

海外事業

752億円増益の1,563億円

増収を伴って収支改善が進んでいることや、自然災害に係る発生保険金が減少したこと、資産運用が
好調であることから大きく増益

目次

2024年度第3四半期決算の概要

グループ連結	P4-9
国内損害保険会社	P10-13
国内生命保険会社	P14-16
海外保険子会社	P17-20
資料	P21-27

<参考掲載> 2024年度業績予想（2024年11月19日発表）

グループ連結	P29-34
国内損害保険会社	P35-36
国内生命保険会社	P37-39
海外保険子会社	P40-43
資料	P44-50

※ 決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「国内損保決算データ集(Excelファイル)」をあわせてご参照ください。

グループ連結

① トップライン

- 正味収入保険料は、海外保険子会社の大幅増収を主因に3,408億円増収
- 国内損保は、自動車保険、火災保険の増収を主因に964億円増収の2兆3,511億円
- 海外保険子会社は、MS Reにおいて新規引受の増加やシェアアップがあったことに加え、為替影響もあり2,443億円増収（除く為替影響は1,452億円増収）
- 国内生保は、MSP生命の前年度の新商品販売増加の反動等を主因に△724億円減収の1兆2,616億円

損保子会社

(億円)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増収率	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料（除く収入積立保険料）	34,189	37,470	3,281	9.6%
正味収入保険料	32,304	35,712	3,408	10.5%
三井住友海上	12,064	12,492	427	3.5%
あいおいニッセイ同和損保	10,223	10,751	528	5.2%
三井ダイレクト損保	253	266	13	5.2%
海外保険子会社	9,757	12,201	2,443	25.0%

生保子会社

(億円)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増収率	
			前年同期比	増収率
保険料（グロス収入保険料）※	13,340	12,616	△724	△5.4%
三井住友海上あいおい生命	3,507	3,436	△71	△2.0%
三井住友海上プライマリー生命	9,832	9,180	△652	△6.6%
生命保険料	7,175	3,803	△3,372	△47.0%

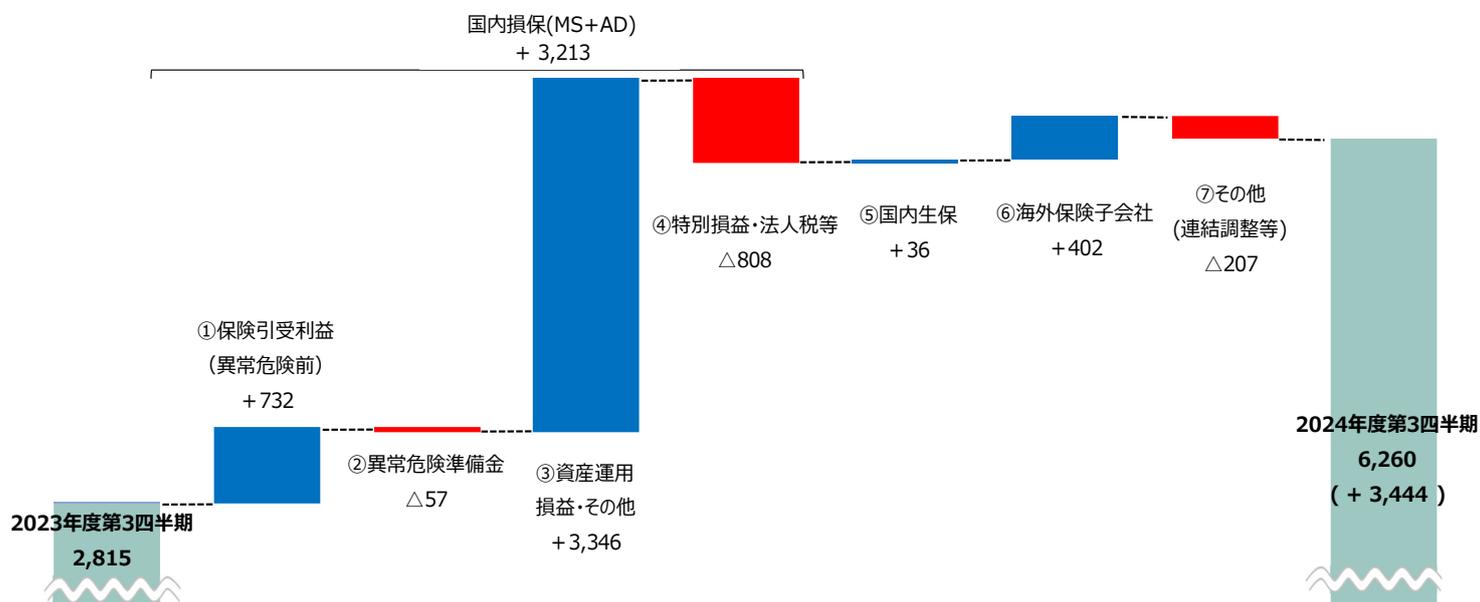
※ 保険料（グロス収入保険料）は国内生保子会社のみ

② ボトムライン

- 国内損保は、資産運用損益（③）の増加などにより、3,213億円の増益
- 海外保険子会社（⑥）は、ロイズ・再保険、米州、海外生保を中心に各地域が増益

連結四半期純利益の前年同期比増減要因

(億円)



③ボトムライン（会社別利益の内訳）

(億円)

	2023年度	2024年度		2024年度通期予想		
	第3四半期	第3四半期	前年同期比	増減率	(11月発表)	進捗率
経常利益	3,865	8,248	4,382	113.4%	8,930	-
三井住友海上	1,896	5,432	3,535	186.4%	5,840	-
あいおいニッセイ同和損保	684	1,171	486	71.1%	1,220	-
三井ダイレクト損保	△ 17	△ 13	4	-	-	-
三井住友海上あいおい生命	369	366	△ 3	△ 1.0%	169	-
三井住友海上プライマリー生命	227	321	94	41.5%	851	-
海外保険子会社	1,080	1,552	472	43.7%	-	-
その他・連結調整等	△ 375	△ 582	△ 206	-	-	-
四半期純利益 [※]	2,815	6,260	3,444	122.3%	6,300	99.4%
三井住友海上	1,430	4,254	2,823	197.4%	4,620	92.1%
あいおいニッセイ同和損保	481	872	390	81.0%	850	102.6%
三井ダイレクト損保	△ 13	△ 14	△ 1	-	△ 14	-
三井住友海上あいおい生命	237	236	△ 0	△ 0.3%	50	472.7%
三井住友海上プライマリー生命	169	206	37	22.1%	230	89.8%
海外保険子会社	877	1,279	402	45.8%	1,570	81.5%
その他・連結調整等	△ 366	△ 573	△ 206	-	△ 1,006	-

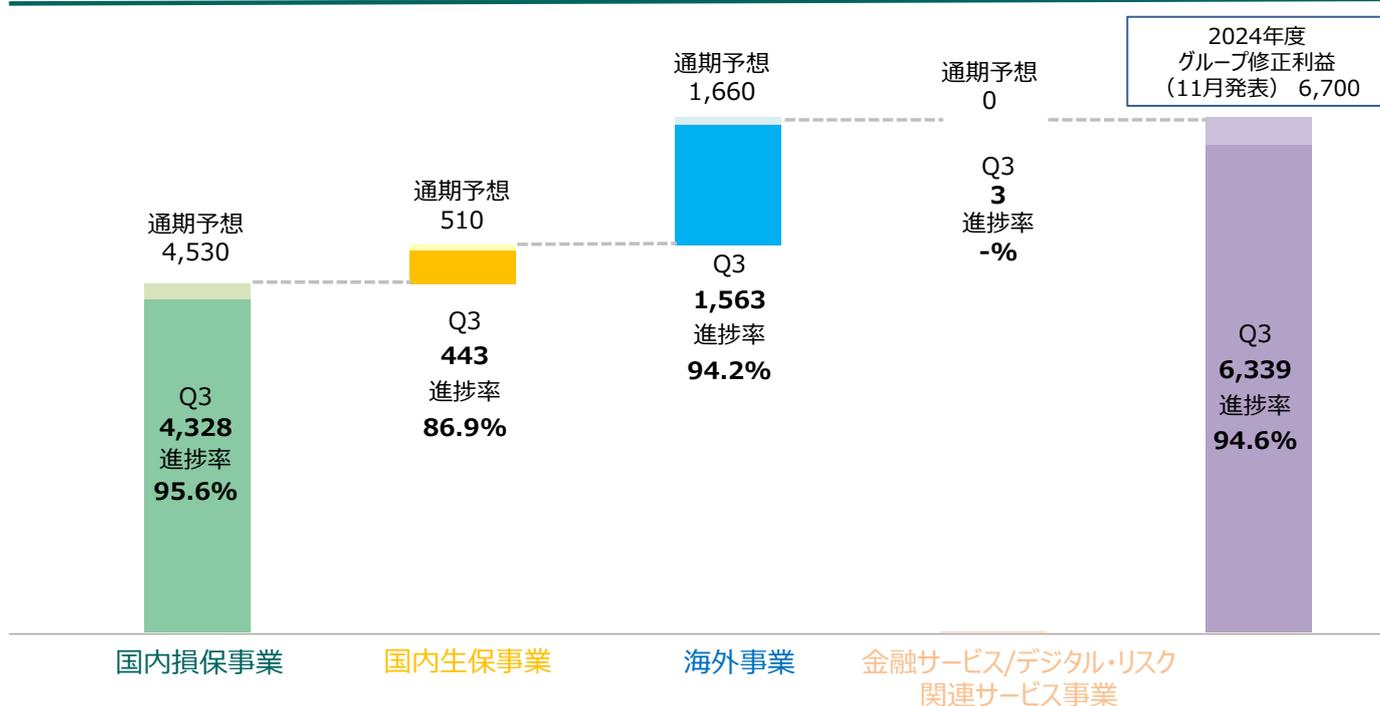
※ 連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益。子会社の四半期純利益は出資持分ベース（以下同じ）

④ボトムライン（グループ修正利益）

- グループ修正利益は、予想（11月発表）6,700億円に対し、進捗率94.6%の6,339億円
- 国内損保事業は95.6%、国内生保事業は86.9%、海外事業は94.2%の進捗率

グループ修正利益の四半期進捗

(億円)



⑤ボトムライン（グループ修正利益の内訳）

(億円)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期		2024年度通期 (11月発表)	
			前年同期比		進捗率
グループ修正利益	2,673	6,339	3,665	6,700	94.6%
国内損保事業	1,431	4,328	2,896	4,530	95.6%
国内生保事業	418	443	24	510	86.9%
海外事業	811	1,563	752	1,660	94.2%
金融サービス事業/デジタル・リスク関連事業	11	3	△8	0	-

(参考)

$$\begin{array}{c} \text{グループ} \\ \text{修正利益} \\ \mathbf{6,339} \end{array} = \begin{array}{c} \text{連結} \\ \text{四半期純利益} \\ \mathbf{6,260} \end{array} + \begin{array}{c} \text{異常危険準備金等} \\ \text{繰入・戻入額}^{\ast 1} \\ \mathbf{\Delta 405} \end{array} - \begin{array}{c} \text{その他} \\ \text{特殊要因}^{\ast 2} \\ \mathbf{\Delta 476} \end{array} + \begin{array}{c} \text{非連結} \\ \text{グループ会社} \\ \text{持分利益} \\ \mathbf{8} \end{array}$$

※1 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※2 のれん償却等△271、グループ修正利益から除外する債券売却損△182

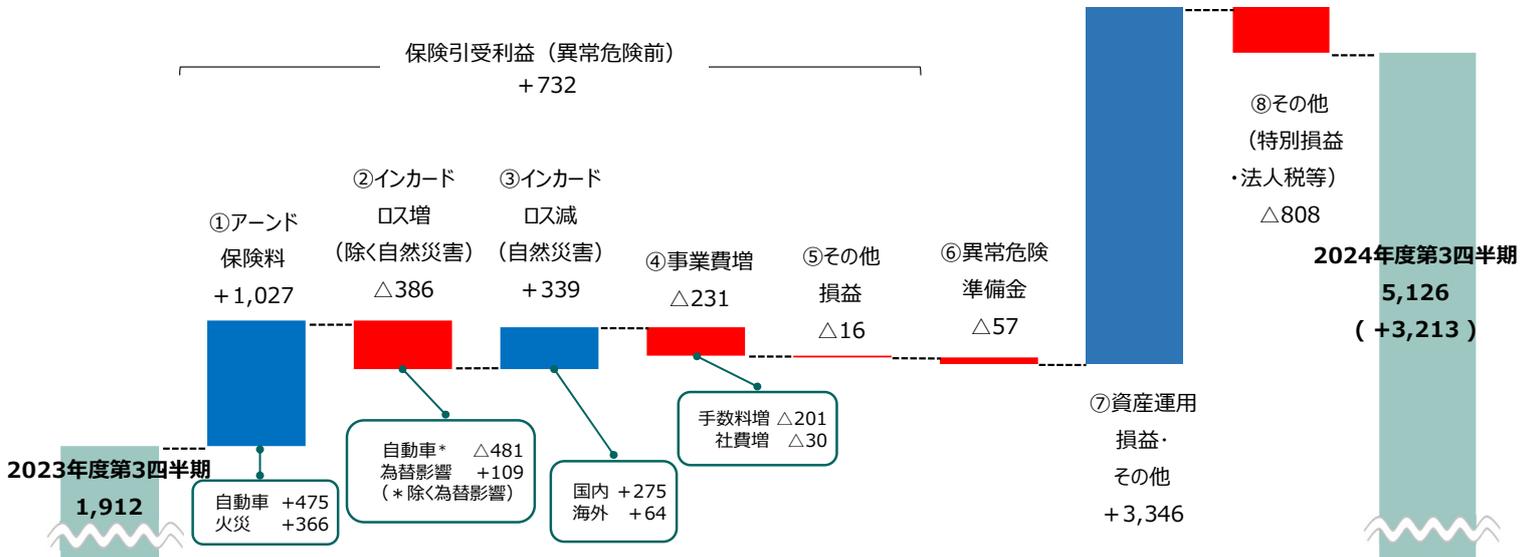
国内損害保険会社

①ボトムライン (MS+AD)

- 保険引受利益(異常危険前)は、自動車保険等のインカードロス (除く自然災害) (②) は増加したものの、自動車保険、火災保険を中心としたアード保険料 (①) の増加や自然災害ロス (③) の減少により増加
- 資産運用損益 (⑦) は、利配収入増加に加え、政策株式売却益が大幅に増加したことを主因に増加

四半期純利益(MS+AD)の前年同期比増減要因

(億円)

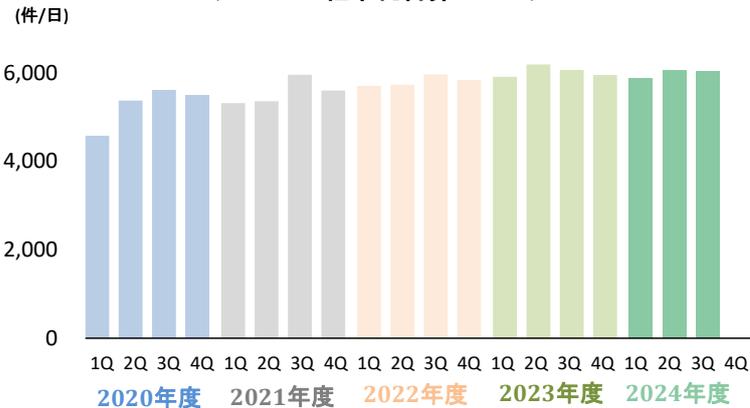


- ※ ①～⑥の各項目は除く家計地震・自賠責ベース
- ※ ②のインカードロスは含む損害調査費

②自動車保険の状況

- 2024年度12月末累計の事故件数は、前年同期比△1.1%の減少
- EI損害率は1.1pt上昇の70.2%、自然災害を除いたベースでは、1.3pt上昇の67.0%

事故件数の推移 (国内, 1日あたり, 除く自然災害) (MS・AD 2社単純合算ベース)



EI 損害率^{※1}の推移 (含む損害調査費) (MS・AD 2社単純合算ベース)



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業へ>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因 ^{※2}	△ 0.4%	+3.7%	+3.3%
<国内>	対物	車両 (除く自然災害)	
保険金単価増減 ^{※3}	+5.2%	+7.1%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業へ>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因 ^{※2}	△ 0.4%	+3.8%	+3.6%
<国内>	対物	車両 (除く自然災害)	
保険金単価増減 ^{※3}	+9.2%	+7.5%	

※1 EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月

※2 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース (4-12月) の対前年同期比

※3 保険金単価の増減は、2023年12月末過去1年間の保険金単価に対する、2024年12月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

③自然災害の状況

- 国内自然災害は、4月兵庫県震災以降の自然災害が少なかったことから、前年同期比△275億円減少
- 海外自然災害は、前年同期比△185億円減少

国内自然災害の影響

	インカードロス			インカードロス 通期予想 (11月発表)	(参考：第3四半期) 出再控除前
	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年同期比		
三井住友海上	574	400	△ 174	540	兵庫県震災 504
あいおいニッセイ同和損保	464	362	△ 101	460	台風10号 163
合計	1,039	763	△ 275	1,000	東京都震災 72

海外自然災害※の影響

	インカードロス			インカードロス 通期予想 (11月発表)
	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年同期比	
あいおいニッセイ同和損保	192	128	△ 64	140
海外保険子会社（ロイズ・再保険）	168	56	△ 112	374
上記以外の子会社	8	-	△ 8	-
合計	369	184	△ 185	514

※ 海外自然災害の集計範囲は社内管理ベース

国内生命保険会社

①三井住友海上あいおい生命

- 新契約年換算保険料は、介護・認知症保険、引受基準緩和型医療保険の販売が拡大する一方、その他の商品の販売が減少したこと等により前年同期比△9.5%減少の184億円
- グロス収入保険料は、逡増定期保険の保有減少等により前年同期比△2.0%減収の3,436億円
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加等もあり、前年同期比+13.3%増益の343億円

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2023年度 第3四半期		2024年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高 (個人合計)	9,782	8,521	△ 1,260	△ 12.9%
新契約年換算保険料	203	184	△ 19	△ 9.5%
うち 第三分野	106	97	△ 8	△ 8.4%
保有契約高 (個人合計)	(期首) 224,655	218,043	(期首比) △ 6,611	△ 2.9%
保有契約年換算保険料	(期首) 4,356	4,306	(期首比) △ 50	△ 1.1%
うち 第三分野	(期首) 1,627	1,657	(期首比) 30	1.9%
保険料 (グロス収入保険料)	3,507	3,436	△ 71	△ 2.0%
経常利益	369	366	△ 3	△ 1.0%
特別損益	△ 10	△ 13	△ 2	-
四半期純利益	237	236	△ 0	△ 0.3%
基礎利益	302	343	40	13.3%

②三井住友海上プライマリー生命

- グロス収入保険料は、前年度の新商品発売による販売増加の反動などにより△6.6%減収し、9,180億円
- 四半期純利益は、米金利上昇により保有債券等の評価損が拡大したものの、上期に運用目標に到達した契約が多数発生したことに伴い責任準備金繰入負担が減少したことなどにより、37億円増益の206億円

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2023年度 第3四半期		2024年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高 (個人合計)	10,460	10,165	△ 295	△ 2.8%
保有契約高 (個人合計)	(期首) 79,057	82,629	(期首比) 3,571	4.5%
保険料 (グロス収入保険料)	9,832	9,180	△ 652	△ 6.6%
経常利益	227	321	94	41.5%
特別損益	5	△ 37	△ 42	△ 780.3%
価格変動準備金繰入・戻入	5	△ 37	△ 42	△ 780.3%
四半期純利益	169	206	37	22.1%

金利・為替影響

(億円)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期
金利影響	△ 348	△ 534
為替影響	293	352
合計	△ 54	△ 182

※ 当期から「為替影響」の構成要素を見直しており、合わせて前期数値も修正

海外保険子会社

①業績概要

- 正味収入保険料は、ロイズ・再保険において新規引受の増加やシェアアップを主因として大きく増収、またアジア、欧州、米州いずれも増収
- 四半期純利益は、ロイズ・再保険、米州、海外生保を中心に各地域ともに増益し、402億円の増益

海外保険子会社

(億円)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期		
			前年同期比	増減率
正味収入保険料	9,757	12,201	2,443	25.0%
ロイズ・再保険	5,254	6,660	1,405	26.8%
アジア	1,845	2,120	274	14.9%
欧州	1,991	2,394	402	20.2%
米州	666	1,026	360	54.1%
四半期純利益	877	1,279	402	45.8%
ロイズ・再保険	368	514	146	39.6%
アジア	329	345	15	4.7%
欧州	49	63	14	29.8%
米州	31	141	109	348.7%
海外生保	98	213	115	118.2%

※ 当期よりロイズ・再保険を区分表示しております

(ご参考) AUL (2024年1-9月期) 業績概要※1

- 四半期純利益は103百万ポンド (前年同期比+7百万ポンド)
- 保険サービス損益は、第1四半期に発生したボルチモア橋桁崩落ロスや、第3四半期に発生したハリケーン・ヘリーの影響等があったものの、引受ポートフォリオの収益性向上により、全体的には良好に進捗し、130百万ポンド (前年同期比+6百万ポンド)
- 金融損益は、ALM対応以外の運用資産が引き続き好調なことや、ALMにより金利変動の影響を抑制したことで、29百万ポンド (前年同期比+29百万ポンド)

(百万ポンド)

	2023年度 第3四半期	2024年度	
		第3四半期	前年同期比
保険サービス損益	124	130	6
金融損益	0	29	29
うち投資損益	23	76	54
うち保険金融費用 (△)	△ 22	△ 47	△ 25
その他損益	△ 37	△ 35	2
法人税等 (△)	9	△ 21	△ 30
四半期純利益	97	103	7

【参考】保険サービス損益の主な内訳等※2

正味収入保険料	1,250	1,110	△ 139
アード保険料	967	1,150	182
インカードロス (割引後)	487	602	115
手数料・社費	360	418	58
EI 損害率	50.4%	52.4%	2.0pt
EI 事業費率	37.2%	36.4%	△0.8pt
EI コンバインドレシオ	87.6%	88.8%	1.2pt

※1 現地管理ベース

※2 正味収入保険料はIFRS4ベース。正味収入保険料およびアード (既経過) 保険料は、バンダー (引受代理店扱い) 契約の計上方法変更に伴う一時的な影響を含む
当該影響を除いた正味収入保険料は増収基調にある。EIコンバインド・レシオは損失要素の変動を含まない

(ご参考) MS Re (2024年1-9月期) 業績概要※1

- 四半期純利益は222百万ドル (前年同期比+75百万ドル)
- 保険サービス損益は、ボルチモア橋桁崩落等の影響があったものの、収支管理を強化しながらのトップライン拡大等により、215百万ドル (前年同期比+56百万ドル)
- 金融損益は、ALM対応以外の運用資産が引き続き好調なことや、ALMにより金利変動の影響を抑制したことで、45百万ドル (前年同期比+21百万ドル)

(百万ドル)

	2023年度 第3四半期※2	2024年度	
		第3四半期	前年同期比
保険サービス損益	159	215	56
金融損益	24	45	21
うち投資損益	70	158	88
うち保険金融費用 (△)	△ 46	△ 113	△ 67
その他損益	△ 24	△ 23	1
法人税等 (△)	△ 13	△ 15	△ 2
四半期純利益	146	222	75

【参考】保険サービス損益の主な内訳等※3

正味収入保険料	2,375	2,917	542
アード保険料	1,718	2,160	442
インカードロス (割引後)	1,001	1,297	296
手数料・社費	555	649	94
EI 損害率	58.3%	60.0%	1.7pt
EI 事業費率	32.3%	30.0%	△2.3pt
EI コンバインドレシオ	90.6%	90.0%	△0.6pt

※1 現地管理ベース

※2 2023年度の四半期純利益には、アード (既経過) 保険料のアードパターン見直しに伴う遡及修正 (△10百万ドル) を含む

※3 正味収入保険料はIFRS4ベース。EIコンバインド・レシオは損失要素の変動を含まない

国内損害保険 主要2社 業績概要①

	2社合計（単純合計）		三井住友海上（単体）		あいおいニッセイ同和損保（単体）	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料^{※1}	23,244	956	12,492	427	10,751	528
アード保険料 ^{※2、※3}	21,536	1,027	11,735	384	9,800	643
インカードロス（含む損害調査費） ^{※2}	(-)	46	7,637	102	6,498	△ 55
保険引受に係る事業費 ^{※2}	(-)	231	3,707	102	3,246	128
諸手数料及び集金費 ^{※2}	4,487	201	2,289	94	2,197	106
営業費及び一般管理費 ^{※2}	2,466	30	1,417	8	1,049	21
保険引受利益（異常危険準備金反映前）	594	732	434	172	159	560
異常危険準備金損益	633	△ 57	339	67	294	△ 125
保険引受利益	1,228	675	774	240	454	434
EI損害率^{※2}	65.6%	△ 3.1pt	65.1%	△ 1.3pt	66.3%	△ 5.3pt
正味損害率 ^{※1}	67.2%	1.1pt	67.4%	1.2pt	66.9%	0.9pt
正味事業費率 ^{※1}	32.7%	△ 0.4pt	32.0%	△ 0.3pt	33.6%	△ 0.4pt
コンバインド・レシオ^{※1}	99.9%	0.7pt	99.4%	0.9pt	100.5%	0.5pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠償ベース

※3 アード（既経過）保険料は、未経過保険料（除く自然災害責任準備金）・保険料積立金等を調整して算出

(億円)

	2社合計 (単純合計)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	1,228	675	774	240	454	434
ネット利息及び配当金収入	1,719	237	1,161	121	558	115
有価証券売却損益	4,157	3,100	3,752	3,131	405	△30
有価証券評価損 (-)	128	△67	118	△77	10	9
資産運用・その他収支	5,375	3,346	4,658	3,294	717	52
経常利益	6,603	4,022	5,432	3,535	1,171	486
特別損益	△62	34	△35	△0	△26	34
税引前四半期純利益	6,541	4,056	5,396	3,535	1,145	521
法人税等	1,415	842	1,142	711	273	130
四半期純利益	5,126	3,213	4,254	2,823	872	390

		2社合計 (単純合計)	
			前年同期比
(参考)	政策株式削減額	5,368	3,709
	政策株式売却益 [※]	4,268	3,238

※連結調整後の売却益は、4,212億円

国内損害保険 主要2社 種目別正味収入保険料

正味収入保険料

(億円)

	2社合計 (単純合計)			三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
	2023年度	2024年度	増収率	2024年度	増収率	2024年度	増収率
	第3四半期	第3四半期		第3四半期		第3四半期	
火災	3,328	3,935	18.2%	1,994	10.7%	1,940	27.1%
海上	596	612	2.7%	572	2.5%	39	5.7%
傷害	1,634	1,676	2.6%	1,215	3.9%	461	△0.8%
自動車	11,244	11,605	3.2%	5,396	3.9%	6,209	2.6%
自賠責	1,953	1,820	△6.8%	922	△7.6%	898	△5.9%
その他	3,531	3,593	1.8%	2,390	2.1%	1,202	1.1%
合計	22,288	23,244	4.3%	12,492	3.5%	10,751	5.2%
除く家計地震・自賠責	20,332	21,422	5.4%	11,569	4.6%	9,853	6.3%

EI損害率（2社単純合算）

	EI損害率			EI損害率（除く自然災害影響）		
	2023年度	2024年度	前年同期比	2023年度	2024年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期		第3四半期	第3四半期	
火災 （除く家計地震）	77.5%	62.9%	△14.6pt	56.2%	50.8%	△5.4pt
海上	54.3%	54.5%	0.2pt	54.2%	54.4%	0.2pt
傷害	56.6%	59.2%	2.6pt	56.6%	59.2%	2.6pt
自動車	69.1%	70.2%	1.1pt	65.7%	67.0%	1.3pt
その他	66.0%	59.0%	△7.0pt	64.7%	58.6%	△6.1pt
合計 （除く家計地震・自賠責）	68.7%	65.6%	△3.1pt	62.7%	61.5%	△1.2pt

※ インカドロス = 正味支払保険金 + 損害調査費 + 支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード（既経過）保険料は、未経過保険料（除く自然災害責任準備金）・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカドロスの金額

EI損害率（三井住友海上（単体）、あいおいニッセイ同和損保（単体））

	EI損害率				EI損害率（除く自然災害影響）			
	三井住友海上 （単体）		あいおいニッセイ 同和損保（単体）		三井住友海上 （単体）		あいおいニッセイ 同和損保（単体）	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
火災 （除く家計地震）	64.7%	△10.4pt	60.8%	△19.7pt	55.4%	△3.6pt	45.3%	△7.5pt
海上	54.5%	△0.7pt	55.2%	10.6pt	54.4%	△0.7pt	55.2%	10.6pt
傷害	58.8%	2.7pt	60.3%	2.5pt	58.8%	2.7pt	60.3%	2.5pt
自動車	71.2%	3.0pt	69.4%	△0.6pt	67.7%	3.4pt	66.3%	△0.6pt
その他	57.7%	△4.7pt	61.7%	△11.9pt	57.4%	△3.6pt	61.1%	△11.4pt
合計 （除く家計地震・自賠責）	65.1%	△1.3pt	66.3%	△5.3pt	61.7%	0.4pt	61.3%	△3.1pt

※ インカドロス = 正味支払保険金 + 損害調査費 + 支払備金積増額

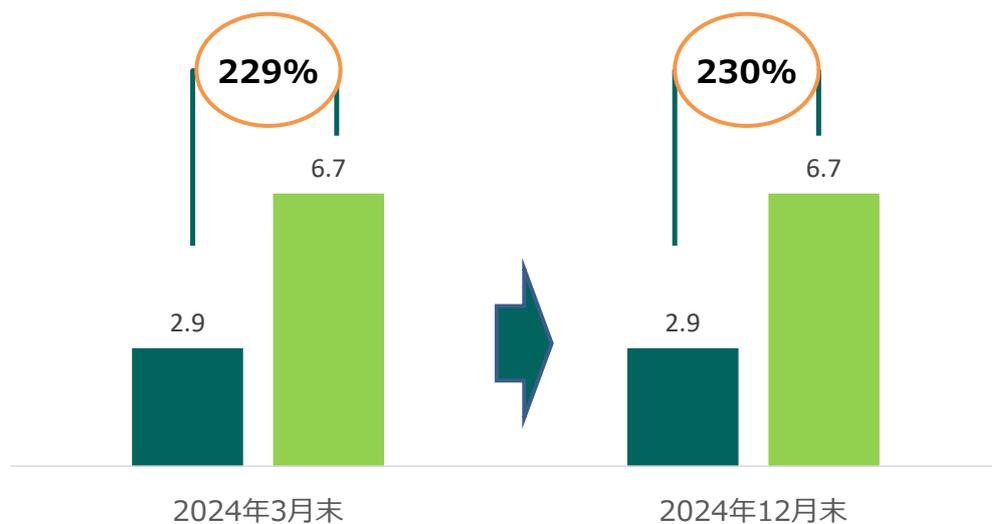
※ EI損害率の分母となるアード（既経過）保険料は、未経過保険料（除く自然災害責任準備金）・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカドロスの金額

ESR^(注1)

■ 統合リスク量^(注2) ■ 時価純資産

(兆円)



<ESRの主な増減要因>
(2024年3月末対比)

ESRは2024年3月末から+1pt上昇。

- ✓ 政策株式の売却等により、統合リスク量が減少
- ✓ 一方で、追加のリスクテイク（収益期待資産への投資等）も順次進んでいることからESR影響は概ね相殺された

<市場環境>

	2024年3月末	2024年12月末	対2024年3月末比
日経平均株価	40,369円	39,895円	△474円
国債30年金利	1.82%	2.30%	+0.48pt
為替（ドル円）	151円	158円	+7円

(注1) ESR : エコミック・ソルベンシー・レシオ (= 時価純資産 ÷ 統合リスク量)
(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

2024年度業績予想

以降は、2024年度業績予想
(2024.11.19 発表) の資料を
参考までに掲載しております

グループ連結

① トップライン

- 国内損保の正味収入保険料は、自動車保険や火災保険の増収により、年初予想比130億円引上げ、3兆1,290億円を見込む
海外保険子会社は、為替影響により、年初予想比140億円引上げ、1兆5,000億円を見込む
- 国内生保のグロス収入保険料は、MSP生命が市場環境を踏まえ販売見直しを見直したことから、年初予想比△990億円引下げ、1兆5,720億円を見込む

損保子会社

(億円)

	2023年度	2024年度 (年初予想)	2024年度 (今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
正味収入保険料	42,617	46,000	46,300	3,682	8.6%	300
三井住友海上	16,233	16,640	16,720	486	3.0%	80
あいおいニッセイ同和損保	13,689	14,150	14,200	510	3.7%	50
三井ダイレクト損保	352	370	370	17	5.1%	-
海外保険子会社	12,336	14,860	15,000	2,663	21.6%	140

生保子会社

(億円)

	2023年度	2024年度 (年初予想)	2024年度 (今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
保険料 (グロス収入保険料) ※	18,273	16,710	15,720	△ 2,553	△ 14.0%	△ 990
三井住友海上あいおい生命	4,737	4,660	4,670	△ 67	△ 1.4%	10
三井住友海上プライマリー生命	13,535	12,050	11,050	△ 2,485	△ 18.4%	△ 1,000
生命保険料	7,352	8,310	6,570	△ 782	△ 10.6%	△ 1,740

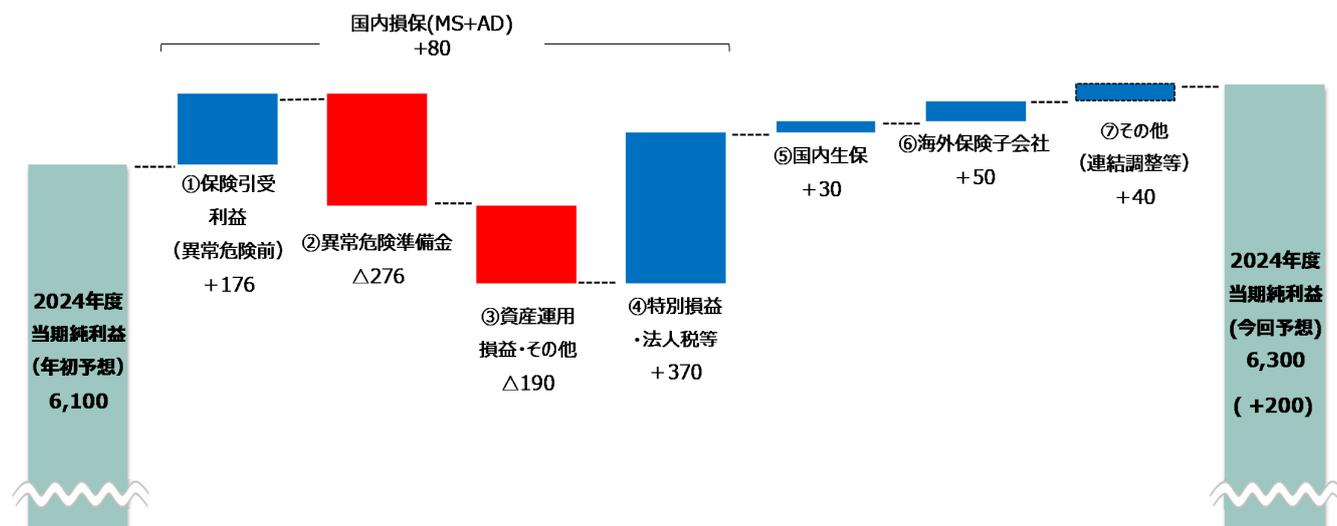
※ 保険料 (グロス収入保険料) は国内生保子会社のみ

②ボトムライン（年初予想との比較）

- 国内損保は、年初からの株価下落等による政策株式売却益減少により資産運用損益・その他（③）は減少となるが、保険引受利益（異常危険前）（①）の増加などにより年初予想対比80億円の引上げ
- 国内生保は、MSA生命は年初予想と変わらず。MSP生命は年初予想比30億円の引上げ
- 海外保険子会社は、上期業績および足元の環境を踏まえ、年初予想比50億円の引上げ

連結当期純利益の年初予想比増減要因

（億円）



③ボトムライン

（億円）

	2023年度	2024年度 (年初予想)	2024年度 (今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	4,164	8,710	8,930	4,765	220
三井住友海上	2,143	6,060	5,840	3,696	△ 220
あいおいニッセイ同和損保	790	1,290	1,220	429	△ 70
当期純利益 [※]	3,692	6,100	6,300	2,607	200
三井住友海上	1,677	4,530	4,620	2,942	90
あいおいニッセイ同和損保	560	860	850	289	△ 10
三井ダイレクト損保	△ 15	△ 12	△ 14	1	△ 2
三井住友海上あいおい生命	281	50	50	△ 232	-
三井住友海上プライマリー生命	196	200	230	33	30
海外保険子会社	1,538	1,520	1,570	31	50
その他・連結調整等	△ 547	△ 1,048	△ 1,006	△ 458	42
R O E (財務会計ベース)	9.8%	13.8%	14.7%	4.9pt	0.9pt

※連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。子会社の当期純利益は出資持分ベース。以下同じ

④ボトムライン（グループ修正利益）

- グループ修正利益は、国内損保事業、国内生保事業、海外事業の引上げにより、年初予想比400億円引上げ、6,700億円を見込む

(億円)

	2023年度	2024年度 (年初予想)	2024年度（今回予想）		
			前期比	年初予想比	
グループ修正利益	3,799	6,300	6,700	2,900	400
国内損保事業	1,867	4,280	4,530	2,662	250
国内生保事業	497	480	510	12	30
海外事業	1,395	1,530	1,660	264	130
金融サービス事業/デジタル・リスク関連事業	40	10	0	△ 39	△ 10
その他経営数値目標					
MSA生命 E E V	9,189	9,700	9,400	210	△ 300
グループ修正ROE	9.0%	13.0%	14.3%	5.3pt	1.3pt

今回業績予想の主な前提

	三井住友海上	あいおいニッセイ同和損保
市場環境の前提	2024年9月末の水準を想定	
	参考（2024年9月末） 日経平均 37,920円、米ドル 143円、ユーロ 159円、英ポンド 191円	
国内自然災害	540億円 (△ 335億円)	460億円 (△ 250億円)
海外自然災害 ^{※1}	-	140億円 (-)
政策株式売却額(2社合算)	6,900億円 (+ 150億円)	
異常危険準備金		
(火災保険)		
繰入	400億円 (△ 1億円)	378億円 (+ 17億円)
取崩	488億円 (△ 227億円)	414億円 (△ 215億円)
積増	△ 88億円 (+ 226億円)	△ 36億円 (+ 232億円)
異常危険準備金		
(自動車保険)		
繰入	232億円 (+ 2億円)	265億円 (+ 2億円)
取崩	680億円 (+ 103億円)	597億円 (+ 1億円)
積増	△ 448億円 (△ 101億円)	△ 332億円 (+ 1億円)
法定実効税率	27.9%	

※1 AUL、MS Re計は374億円 (△156億円)

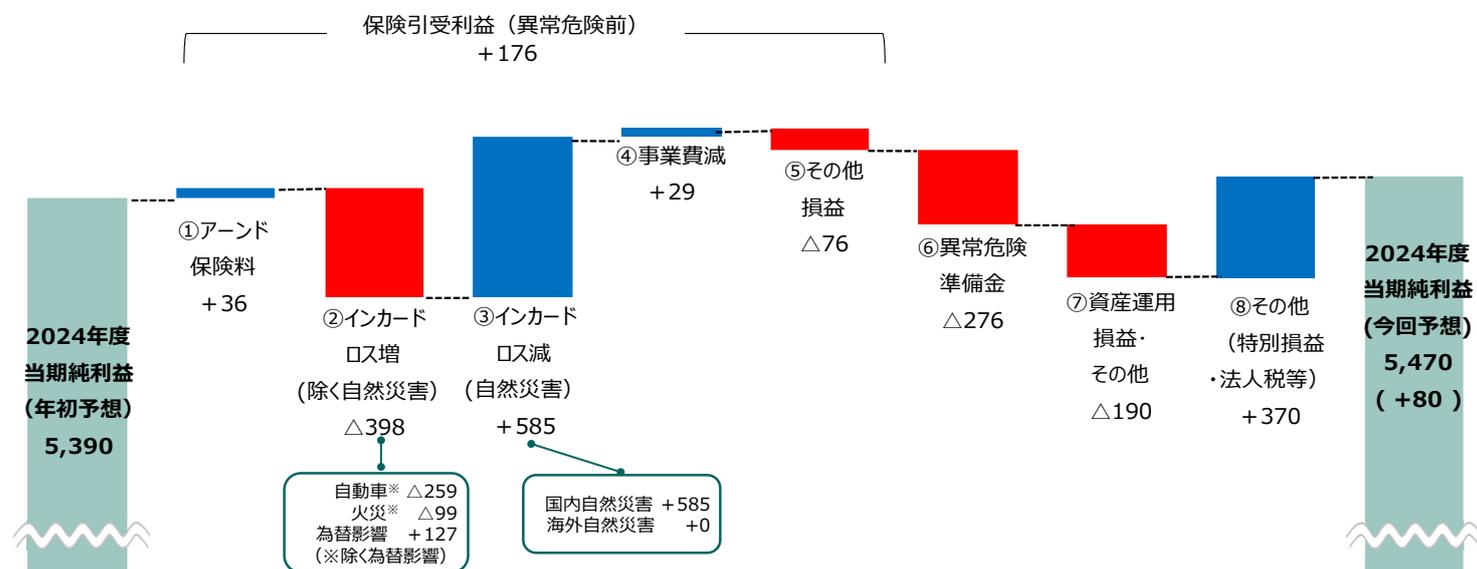
※2 () 内は年初予想比

①ボトムライン (MS+AD)

- 保険引受利益(異常危険前)は、保険金単価上昇による自動車保険のロス増 (②) があるものの、国内自然災害の減少 (③) などにより引上げ
- 資産運用損益 (⑦) は、年初からの株価下落等による政策株式売却益の減少により引下げ

当期純利益(MS+AD)の年初予想比増減要因

(億円)



※ ①～⑥の各項目は除く家計地震・自賠償ベース

※ ②のインカードロスは含む損害調査費

国内生命保険会社

①三井住友海上あいおい生命

- 当期純利益は年初予想同額の50億円を見込む

主要項目

(億円)

	2023年度	2024年度 (年初予想)	2024年度 (今回予想)		
			増減率/前期比	年初予想比	
新契約高 [※]	12,928	13,837	12,986	0.4%	△851
新契約年換算保険料 [※]	269	278	265	△1.5%	△13
保有契約高 [※]	224,655	219,692	217,218	△3.3%	△2,474
保有契約年換算保険料 [※]	4,356	4,335	4,328	△0.6%	△7
保険料 (グロス収入保険料)	4,737	4,660	4,670	△67	10
経常利益	491	169	169	△322	-
当期純利益	281	50	50	△232	-

※新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険・個人年金保険の合計

②三井住友海上プライマリー生命

- 当期純利益は、運用目標に到達した契約が多数発生したことに伴う責任準備金繰入負担が減少した一方で、下期の価格変動準備金の追加積立を織り込むことから、年初予想比+30億円の230億円を見込む

主要項目

(億円)

	2023年度	2024年度 (年初予想)	2024年度（今回予想）		
			増減率/前期比	年初予想比	
新契約高	14,370	13,594	12,283	△ 14.5%	△ 1,311
保有契約高	79,057	82,864	78,394	△ 0.8%	△ 4,470
保険料（グロス収入保険料）	13,535	12,050	11,050	△ 2,485	△ 1,000
経常利益	△ 269	422	851	1,121	429
当期純利益	196	200	230	33	30

海外保険子会社

海外保険子会社

(億円)

	2023年度	2024年度 (年初予想)	2024年度 (今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	12,336	14,860	15,000	2,663	140
ロイズ・再保険	6,428	7,941	8,018	1,589	77
アジア	2,494	2,779	2,762	267	△ 17
欧州	2,395	2,626	2,786	389	160
米州	1,017	1,514	1,434	416	△ 80
当期純利益	1,538	1,520	1,570	31	50
ロイズ・再保険	835	647	673	△ 163	26
アジア	452	400	429	△ 23	29
欧州	65	88	78	12	△ 10
米州	47	172	166	118	△ 6
海外生保	136	213	225	88	12

※ 当期よりロイズ・再保険を区分表示しております

(ご参考) AUL 2024年度(2024年1-12月期)業績予想※1

- 当期純利益は、ほぼ年初予想どおりの124百万ポンドを見込む
- 保険サービス損益は、ボルチモア橋桁崩落ロスやハリケーン・ヘリーン、ハリケーン・ミルトンといった大口ロスが発生しているが、引受ポートフォリオの収益性向上により、ほぼ年初予想どおりとなる152百万ポンド（年初予想比△4百万ポンド）を見込む
- 金融損益は、ALM対応以外の運用資産の好調を主因に、38百万ポンド（年初予想比+19百万ポンド）を見込む

(百万ポンド)

	2023年度	2024年度 年初予想	2024年度 今回予想		
			前年比	年初予想比	
保険サービス損益	244	156	152	△ 92	△ 4
金融損益	△ 15	20	38	53	19
うち投資損益	56	63	91	35	29
うち保険金融費用 (△)	△ 71	△ 43	△ 53	18	△ 10
その他損益	△ 63	△ 12	△ 39	24	△ 27
法人税等 (△)	31	△ 41	△ 28	△ 59	13
当期純利益	197	122	124	△ 73	1

【参考】保険サービス損益の主な内訳等※2

正味収入保険料	1,495	1,546	1,527	32	△ 19
アード保険料	1,351	1,560	1,527	176	△ 33
インカードロス (割引後)	624	875	829	205	△ 46
手数料・社費	488	533	548	61	15
EI 損害率	46.2%	56.1%	54.3%	8.1pt	△1.8pt
EI 事業費率	36.1%	34.2%	35.9%	△0.2pt	1.7pt
EI コンバインドレシオ	82.3%	90.3%	90.2%	7.9pt	△0.1pt

※1 現地管理ベース

※2 正味収入保険料はIFRS4ベース。正味収入保険料およびアード（既経過）保険料は、バンダー（引受代理店扱い）契約の計上方法変更に伴う一時的な影響を含む当該影響を除いた正味収入保険料は増収基調にある。EIコンバインド・レシオは損失要素の変動を含まない

(ご参考) MS Re 2024年度(2024年1-12月期)業績予想※1

- 当期純利益は、年初予想どおりの301百万ドルを見込む。なお、バミューダでの法人税制改正等による、前期の繰延税金資産計上に伴う一過性のプラス影響を除くと、増益を見込む
- 保険サービス損益は、ポルチモア橋桁崩落等の大口ロスの影響により、256百万ドル（年初予想比△47百万ドル）を見込む
- 金融損益は、ALM対応以外の運用資産の好調を主因に、87百万ドル（年初予想比+57百万ドル）を見込む

(百万ドル)

	2023年度 ※2,※3	2024年度 年初予想	2024年度 今回予想		
			前年比	年初予想比	
保険サービス損益	224	303	256	32	△ 47
金融損益	63	30	87	24	57
うち投資損益	199	172	215	16	43
うち保険金融費用 (△)	△ 137	△ 142	△ 129	8	13
その他損益	△ 27	△ 16	△ 25	2	△ 9
法人税等 (△)	94	△ 16	△ 17	△ 111	△ 0
当期純利益	353	301	301	△ 52	0

【参考】保険サービス損益の主な内訳等※4

正味収入保険料	2,868	3,291	3,291	423	0
アーンド保険料	2,417	2,812	2,907	490	95
インカードロス (割引後)	1,440	1,631	1,744	304	114
手数料・社費	756	878	907	151	29
EI 損害率	59.6%	58.0%	60.0%	0.4pt	2.0pt
EI 事業費率	31.3%	31.2%	31.2%	△0.1pt	0.0pt
EI コンバインドレシオ	90.9%	89.2%	91.2%	0.3pt	2.0pt

※1 現地管理ベース

※2 2023年度の当期純利益には、アーンド（既経過）保険料のアーンドパターン見直しに伴う遡及修正（△13百万ドル）を含む

※3 2023年度の当期純利益は、バミューダでの法人税制の改正等による繰延税金資産計上に伴うプラス影響（93百万ドル）を含む

※4 正味収入保険料はIFRS4ベース。EIコンバインド・レシオは損失要素の変動を含まない

国内損害保険 主要2社 業績予想①

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保		
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比
正味収入保険料^{※1}	30,920	997	130	16,720	486	80	14,200	510	50
アード保険料 ^{※2、※3}	28,566	1,082	36	15,555	396	6	13,011	685	30
インカードロス(含む損害調査費) ^{※2} (-)	19,265	2	△ 187	10,326	72	△ 126	8,939	△ 70	△ 61
保険引受に係る事業費 ^{※2} (-)	9,336	217	△ 29	4,987	70	9	4,349	147	△ 38
諸手数料及び集金費 ^{※2}	5,854	130	△ 10	2,982	44	△ 4	2,872	86	△ 6
営業費及び一般管理費 ^{※2}	3,482	86	△ 19	2,005	26	13	1,477	60	△ 32
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	△ 122	462	176	176	128	61	△ 298	333	115
異常危険準備金損益	782	322	△ 276	424	263	△ 51	358	58	△ 225
保険引受利益	660	784	△ 100	600	392	10	60	391	△ 110
EI損害率^{※2}	67.4%	△ 2.7pt	△ 0.8pt	66.4%	△ 1.2pt	△ 0.8pt	68.7%	△ 4.4pt	△ 0.6pt
正味損害率 ^{※1}	68.5%	2.5pt	△ 0.9pt	67.6%	2.0pt	△ 0.6pt	69.5%	3.1pt	△ 1.3pt
正味事業費率 ^{※1}	33.0%	△ 0.3pt	△ 0.2pt	32.1%	△ 0.6pt	△ 0.1pt	34.1%	△ 0.1pt	△ 0.3pt
コンバインド・レシオ^{※1}	101.5%	2.2pt	△ 1.1pt	99.7%	1.4pt	△ 0.7pt	103.6%	3.0pt	△ 1.6pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※3 アード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

国内損害保険 主要2社 業績予想②

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保		
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比
保険引受利益	660	784	△ 100	600	392	10	60	391	△ 110
ネット利息及び配当金収入	2,162	279	44	1,481	186	△ 24	681	92	68
有価証券売却損益	5,197	3,380	24	4,306	3,317	21	891	63	3
有価証券評価損(-)	189	△ 64	117	120	△ 126	90	69	61	27
資産運用・その他収支	6,400	3,341	△ 190	5,240	3,303	△ 230	1,160	37	40
経常利益	7,060	4,126	△ 290	5,840	3,696	△ 220	1,220	429	△ 70
特別損益	△ 120	△ 120	49	△ 46	△ 115	1	△ 74	△ 4	48
当期純利益	5,470	3,231	80	4,620	2,942	90	850	289	△ 10

正味収入保険料

(億円)

	2社合計 (単純合計)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		増収率		増収率		増収率
火災	5,119	11.8%	2,643	5.5%	2,476	19.4%
海上	799	1.7%	760	3.5%	39	△24.2%
傷害	2,238	2.0%	1,638	3.2%	600	△1.2%
自動車	15,488	2.5%	7,233	3.6%	8,255	1.6%
自賠償	2,437	△4.5%	1,225	△6.0%	1,212	△3.0%
その他	4,840	2.9%	3,222	3.3%	1,618	2.1%
合計	30,920	3.3%	16,720	3.0%	14,200	3.7%
除く家計地震・自賠償	28,481	4.1%	15,494	3.8%	12,987	4.4%

国内損害保険 主要2社 業績予想④ 種目別EI損害率

EI損害率

	2社合計 (単純合計)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		前期比		前期比		前期比
火災	65.0%	△11.2pt	63.4%	△9.3pt	66.8%	△13.7pt
海上	55.3%	△3.4pt	55.0%	△0.5pt	60.5%	△33.8pt
傷害	61.1%	3.0pt	62.1%	3.5pt	58.4%	1.7pt
自動車	71.5%	0.6pt	71.4%	1.4pt	71.6%	△0.1pt
その他	62.1%	△6.3pt	62.7%	△2.6pt	60.8%	△13.9pt
合計 (除く家計地震・自賠償)	67.4%	△2.7pt	66.4%	△1.2pt	68.7%	△4.4pt
(除く自然災害影響)	63.4%	△1.8pt	62.9%	△0.7pt	64.1%	△3.0pt

※ インカドロス = 正味支払保険金 + 損害調査費 + 支払備金積増額

※ EI 損害率の分母となるアード (既経過) 保険料は、未経過保険料 (除く自然災害責任準備金) ・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカドロスの金額

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります

- ・ MS & ADホールディングス、持株会社 (= MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ MS & AD (= MS & ADインシュアランス グループ)
- ・ 三井住友海上、MS (= 三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (= あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (= 三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (= 三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (= 三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- ・ AUL (= MS Amlin Underwriting Limited)
- ・ MS Re (= MS Reinsurance※)

※MS Amlin AGが2022年9月より使用開始したブランドネーム

「グループ修正利益、修正純資産、グループ修正ROE」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因 (のれん・その他無形固定資産償却額等) + 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産 (期初・期末平均)

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS & ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/contact.html>